

補助事業番号 24-4-006
補助事業名 平成24年度 (復興支援) 被災地域の記録、調査活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人日本リザルツ

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

震災から1年以上が経過する中、復興支援に係る関係者間のコーディネーションの改善をはかり、復興の進展を図ることを目標としました。そのため、仮設住宅に居住する方々へ丹念な聞き取り調査を行った上で、それを基に被災者を含めた復興支援活動に携わる関係者の意見交換を行う会合を開催し、復興へのニーズ確認・情報共有・今後の協力体制の構築を目指しました。一連のプロセスは報告書として取り纏め、関係官庁等に提出し、政策改善の資料として活用を促しました。

(2) 実施内容

- ・ 釜石市での聞き取り調査（アンケート）活動



- ・ 第一回～第四回意見交換会での復興支援に携わる関係者からの提言活動





2012年6月23日から約1か月間、釜石市の全仮設住宅を訪問し、聞き取り調査を行い、333名の方々から生活再建や事業再建、また被さいローン減免制度に関連する要望についての回答を得ました。同調査結果を纏め、釜石市、大阪、東京で計4回、復興支援に係る意見交換会を実施した上で報告書に纏めました。

以上をHPに掲載（URL：<http://www.results.jp.org/press/130410.pdf>）

2 予想される事業実施効果

今回の活動を経て作成した報告書を関係者である釜石市役所、専門家、有識者の方々へ配布しており夫々の復興行政や研究活動に今後、活かしていただきます。また被さい者の方にも配布し現場の声として様々な場で問題提起を行う上での拠り所となれば幸いです。

政策決定者にも上申し、復興政策に有効に反映できるようにしていく所存です。今後、復興事業に重責を担う政策決定者を中心に本報告書を届け復興支援策へのアドボカシーに繋げていければと考えます。

更には東日本大震災に従事するNPO各団体と協議の場における基礎資料として活用してもらおう所存です。NGOに望む被さい者からの声などを出来る限り被さい地で活躍するNGOに届けてよく吟味した上で被さい者のニーズを基にした活動を各NGOが行い、発展していく一助になれば幸いです。

当団体の活動にも十分活かしていきます。現在、被さい地において生活再建事業などを進めており、今後、コミュニティ再生事業及び経済活性化に向けた活動も計画しております。本報告書に基づき被さい地のニーズを踏まえた事業を展開していきたいと考えます。

3 本事業により作成した印刷物等

被災地域の記録、調査活動かかわる報告

(URL：<http://www.results.jp.org/press/s1304.pdf>)

4 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名：特定非営利活動法人 日本リザルツ

住 所：〒100 - 0013

東京都千代田区霞が関3 - 6 - 14 三久ビル503

代 表 者：理事長 浅野茂隆（アサノ シゲタカ）

代表 白須紀子（シラス ノリコ）

担 当 者：鰐部 行崇（ワニベ ユキタカ）

電 話 番 号： 03 - 6268 - 8744

F A X： 03 - 3597 - 3448

E - m a i l： results.japan@gmail.com

U R L： <http://www.results.jp.org>